

報道関係各位



特別展に、「ゆかいないきもの図鑑」などで有名な
ぬまがさワタリさんの書き下ろしイラストが登場しました！



現在開催中の特別展「海とサルの交わる場所」に、10 月 18 日(土)より新規展示がオープンしました！
その目玉は、「ゆかいないきもの図鑑」などで有名な、ぬまがさワタリさんの書き下ろしイラストです。
日本モンキーセンターとの初めてのコラボで、海とサルのさまざまな関わりについて、イラストで楽しく紹介していただきました。モンキーセンターのスタッフが実際に取材した内容も盛り込まれています。
会期中に多くの方に足を運んでいただきたく、ぜひ貴メディアにてぜひご紹介ください。

■展示概要(詳細は別紙参照)

会期:2025 年 7 月 19 日(土)~11 月 30 日(日)

特別協力:船の科学館「海の学びミュージアムサポート」

主な展示物:・スタッフが自ら取材した海辺のサルの写真や動画

- ・カニクイザルが食べるカニや貝類などの生体展示水槽(3 本)
- ・海を越え進化した霊長類の剥製標本(9 点)
- ・リトルワールドからやってきた釣針や銚などの民俗資料や船模型(9 点)

【10 月 18 日(土)からの新展示】

- ・スタッフが取材した海辺のサルのパネル
- ・ぬまがさワタリさんによる書き下ろしイラスト 4 点



■ぬまがさワタリさんによる書き下ろしイラスト

海とサルの関係が実感できるエピソードを
日本モンキーセンターのスタッフが提供し、
それをもとにオリジナルのイラストを
書き下ろしていただきました！

点数:4 点(ニホンザル 2 点、カニクイザル 2 点)

サイズ:A2 サイズ

※本画像転載不可。掲載用にはデータ提供いたしますのでご連絡ください



■ポストカードプレゼント

X(旧 Twitter) 公式アカウントをフォローしてくださった方を対象に、
ぬまがさワタリさん書き下ろしイラストのポストカードをプレゼント！

日程:11 月 1 日(土)より先着 400 名様(予定)

場所:ビジターセンター インフォメーション ※入園が必要です

内容:ポストカード 2 枚セット(ニホンザルまたはカニクイザル)

※詳細は 10 月末の X ポストをご確認ください



■展示風景



ぬまがさワタリさんの書き下ろしイラスト 4 点



第 1 章「海とニホンザル」に 2 点展示



第 2 章「海と世界のサル」にも 2 点展示



ホラー風の 1 点は水槽の間に展示

■関連イベント

閉会までに、以下の 2 つの関連イベントを開催します。

■海とサルのゲストトーク

日時：各日 11:00～11:45

場所：ビジターセンター ホール

10/19(日)「下北半島のサルー自然がほほえむときー」

NPO 法人ニホンザル・フィールドステーション 松岡史朗さん

10/26(日)「海とサル:カニクイザルの新天地適応能力」

京都大学野生動物研究センター 豊田有さん

11/16(日)「水中考古学からわかる船の進化の歴史」

古代エジプト～大航海時代 山船晃太郎さん

11/30(日)「島に住むニホンザル」

京都大学野生動物研究センター 鈴木崇文さん

■ミュージアムトーク ライト Ver.

「私が見た海とサル」

日時: 11/22(土)～24(月祝)

11:00～11:30

場所: ビジターセンター ホール

この特別展のために生息地を取材したスタッフが、日替わりでお話します

11/22(土) 波勝崎(高野)

11/23(日) 波勝崎(辻内)

11/24(月祝) 波勝崎(赤見)

■本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人日本モンキーセンター 〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26

TEL: 0568-61-2327 FAX: 0568-62-6823 メール: info@j-monkey.jp

問合先: 赤見、高野、新宅(特別展担当) 綿貫、江藤、田中(学術部企画広報課)

別紙 特別展「海とサルの交わるところ」概要

森林を主な進化の舞台としてきた霊長類(サルのなかま)にとって、海とのつながりはあまり深くないように思われます。しかし約 500 種にも多様化した霊長類の中には、海を上手に利用してくらしている種もいます。さらに、霊長類の多様化にとって海は欠かせないものでした。

この特別展では、海辺でくらすこともあるニホンザルやカニクイザルと海との関わりを紹介するとともに、中南米やマダガスカルなどへ海を越えて分布を広げた霊長類たちの適応放散にも目を向けます。そして私たちヒトは、広大な海を越え、最も積極的に海を利用してきた霊長類だと言えるでしょう。特別展の最後には、海を越え海を利用してきた私たちのルーツにも思いを馳せてみましょう。

会期:2025 年 7 月 19 日(土)～11 月 30 日(日)

場所:ビジターセンター内 特別展示室

主催:公益財団法人日本モンキーセンター

特別協力:船の科学館「海の学びミュージアムサポート」

協力:野外民族博物館リトルワールド

内容:以下の 4 つのコーナーで構成します



第 1 章:海とニホンザル

四方を海に囲まれた日本には、日本固有種であるニホンザルが生息しています。中でも幸島(宮崎県)や金華山(宮城県)など、島に生息するニホンザルは群れの動向を追やすく、恰好の調査対象となってきました。ここでは本特別展の導入として、海辺の調査地で観察されてきたニホンザルと海の関係を見てみましょう。

主な展示物:ニホンザル調査地マップ、10 名以上のスタッフが自ら取材した海辺のサルの写真や動画など

第 2 章:海と世界のサル

世界に目を向ければ、ニホンザルよりももっと海を積極的に利用しているサルもいます。泳いだり道具を使ったりして海産物を食べるカニクイザルやオマキザルなど、海と世界のサルの関係を見てみましょう。

主な展示物:カニクイザルが食べるカニや貝類などの生体展示水槽(3 本)、カニクイザル、テングザル、オマキザルのなかまの海産物利用の研究紹介、RSPO 認証の紹介など



第 3 章:海を渡った霊長類たち

もっとも古い時代の霊長類の化石はおもに北半球から発見されています。北半球から分布を広げた霊長類は、中南米やマダガスカルのように大きな海で隔てられた地に渡りました。また、東南アジアではマレー半島だけでなく、多くの島にも霊長類がくらし。彼らのたどった歴史を見ていきます。

主な展示物:中南米やマダガスカルの霊長類剥製など



第 4 章:人類進化と海

さまざまな霊長類と海との関係を見てきましたが、ヒトほど海を利用する霊長類はいないでしょう。特別展の最後には人類進化の視点から、人類の渡海(と海産物利用)について紹介します。

主な展示物:ホモ属の化石人類のレプリカ標本、リトルワールドからやってきた民俗資料など

